



# Micro Cleaner®

## EFFLO BREAK

### マイクロクリーナー エフロブレイク

改訂日:平成29年6月1日  
株式会社タックアンドカンパニー  
東京都練馬区高松3-2-8  
TEL:03-5848-9240

#### 製品安全性データシート (SDS)

##### 1. 化学物質等及び情報

化学物質の名称	マイクロクリーナーエフロブレイク
会社名	株式会社タックアンドカンパニー
住所	東京都練馬区高松3-2-8
担当者名	新井田 康介
電話番号	03-5848-9240
FAX番号	03-5848-9241
推奨用途及び使用上の制限	エフロレックス、尿石スケール除去および洗浄

##### 2. 危険有害性情報

###### GHS分類

金属腐食性物質	区分 1
急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(吸入)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分 1
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分 1
吸引性呼吸器有害性	区分 1
水生環境有害性(急性)	区分 1

※記載のないものは区分外、分類対象外または分類出来ない

###### 絵表示またはシンボル



###### 危険有害性情報

金属腐食の恐れ  
飲み込むと有害  
吸入すると有害  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こす恐れ  
呼吸器系の障害  
長期にわたる、または反復曝露による歯、呼吸器系の障害  
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険の恐れ

### 3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区分

混合物

成分

- 塩化水素
- 防錆剤
- 色素
- 純水

### 4. 応急措置

大量に吸入した場合

- ・吸入をして気分の悪くなった場合は空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。
- ・気分が戻らない場合は医師の診断を受ける。
- ・呼吸に関する症状が出た場合には医師に連絡する。
- ・呼吸していて嘔吐がある場合は頭を横向きにする。
- ・呼吸が弱い場合は人工呼吸や酸素吸入を行う。
- ・吸入の影響が遅れて現れることがある。

皮膚に付着した場合

- ・直ちに水で洗い流し、液が付着した部分を石鹼でよく洗う。
- ・汚染した衣類を再使用する場合は洗濯してから使用する。
- ・水で洗浄した後に衣類が皮膚に張り付いている場合は無理に剥がさない。
- ・洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと皮膚障害を生ずる恐れがある。
- ・直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合

- ・清浄な水で最低15分間洗浄する。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼の隅々まで水が行き渡るように洗浄する。
- ・コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄を続ける。
- ・洗浄後、医師の診断を受ける。
- ・激しい痛みがある場合は、直ちに医師の診断を受ける。
- ・洗浄を始めるのが遅れたり不十分であると、不可逆的な目の障害を生ずる恐れがある。

飲み込んだ場合

- ・直ちに水で口の中を洗浄する。
- ・直ちに医師の診断を受ける。
- ・無理に吐かせない。
- ・腐食性の製品なので、吐き出させるとかえって危険が増す。直ちに医療措置を受ける手配をする。
- ・子供などが飲み込んだ懸念がある場合、直ちに医師の診断を受ける。
- ・必要に応じて人工呼吸や酸素吸入を行う。

### 5. 火災時の措置

使ってはならない消火剤

- ・冷却の目的で霧状水は用いて良いが、消火に棒状水を用いてはならない。

火災時の特有の危険有害性

- ・火災により刺激、腐食性が強い塩化水素ガスが発生する恐れがある。

特有の消火方法

- ・消火作業は可能な限り風上から行う。
- ・関係者以外は安全な場所に退去させる。
- ・周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。
- ・周囲の設備などの輻射熱による温度上昇を防止するため、水スプレーにより周辺を冷却する。
- ・消火のための放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等)を着用する。
- ・換気・通気を励行する。
- ・こぼれた場所は滑りやすいので注意する。
- ・多量の場合、人を安全に退避させる。

### 環境に対する注意事項

- ・下水、河川海域等への流出に注意する。
- ・乾燥砂・土・ウエス等に吸収させて回収する。

### 二次災害の防止法

- ・漏出時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

## 7. 取扱及び保管上の注意

### 取扱い

- ・製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しない。
- ・酸性なのでアルカリ性製品との接触を避ける。
- ・粉塵、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しない。
- ・取扱いは、屋外または換気の良い場所で行う。
- ・取扱い後は手を良く洗う。

### 保管

- ・製品記載の保管条件をよく読み、適切に保管する。
- ・容器を密閉する。
- ・日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しない。
- ・耐腐食性あるいは耐腐食性内張りのある容器に保管する。
- ・アルカリと一緒に保管しない。

## 8. 暴露防止及び保護措置

### 設備対策

- ・蒸気または煙やミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
- ・屋内で使用する場合は局所排気装置を設置する。

### 保護具

- ・保護マスクを着用する。必要に応じて防塵マスク、防毒マスク、有機溶剤用の防毒マスクを着用する。
- 目に対する保護具…ゴーグル
- 手に対する保護具…ビニール手袋
- その他…必要に応じて簡易マスクやゴム長靴を使用する。

## 9. 物理的及び科学的性質

外観・状態	赤色透明液体
臭い	刺激臭
比重(密度)	1.11
融点	データなし
凝固点	データなし
沸点	データなし
pH	2.0

## 10. 物理的及び科学的性質

安定性及び反応性	化学的安定性	通常の保管状態では安定である。 加熱により塩化水素ガスが発生する。
	危険有害反応性の可能性	金属を侵して水素ガスを発生し、これが空気と混合し引火源があると爆発す 強アルカリ性と激しく反応し、発熱する。
	避けるべき条件	熱、日光
	混触危険性物質	アルカリ性物質(酸性物質のため、アルカリ性物質との接触を避けること)
	危険有害な分解生成物	金属、水反応可燃性物質 塩素、塩化水素、水素

## 11. 有害性情報

有害性情報	急性毒性	データなし
	皮膚腐食性／刺激性	強酸性を示し、皮膚及び粘膜を刺激する。
	目への損傷性／刺激性	強酸性を示し、目及び粘膜を刺激する。
	生殖細胞変異原性	データなし
	発癌性	データなし
	生殖毒性	データなし
	呼吸性呼吸器有害性	データなし

## 12. 環境影響情報

### 塩化水素

《水生環境有害性》(急性)

塩化水素の甲殻類(オオミジンコ)の48時間EC50=0.492mg/L(SIDS(2002))の情報より、  
水生環境有害性(急性)を区分1とした。

《水性環境有害性》(慢性)

水溶液が強酸となることが毒性の要因と考えられるが、環境水中では緩衝作用により毒性影響が緩和さ  
れる。また、塩化水素のlogPow=0.25より、区分外とした。

## 13. 廃棄時の注意

廃棄時の注意	都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託する。 毒物及び劇物の廃棄方法に関する基準に従う。
--------	--

## 14. 輸送時の注意

輸送時の注意	国連分類	クラス8 腐食性物質
	国連番号	1789(塩酸含有)
		運搬に際しては容器の破損、漏れ、栓の閉まり具合を確かめ、火気、衝撃、 転倒、落下、破損、漏洩を生じないように積み込み、荷崩れ防止を確実に ※その他輸送関係法規を厳守する。

## 15. 適用法令

適用法令	化学物質管理促進法(PRTR)	該当しない
	労働安全衛生法	該当しない
	毒物及び劇物取締法	劇物(塩酸含有)
	船舶安全法	該当しない
	航空法	該当しない

## 16. その他の情報

\* 本資料は製品に関する情報提供を目的としたものであり、記載のデータや評価に関しては当該製品のすべての安全性やその他  
特性を保証するものではなく、経験に基づきひとつの目安として参考にするものです。実際の使用にあたっては十分ご理解の上  
お取り扱いください。